

令和2年度士別市総合教育会議（第1回） 会議録

- 1 日 時 令和2年5月14日（木） 午後4時30分～5時00分
- 2 場 所 士別市役所2階 会議室201
- 3 出席者 **【構成員】** 牧野市長、中峰教育長、五十嵐教育長職務代理者、馬場教育委員、加藤教育委員、山田教育委員
【事務局】 ・教育委員会 鴻野生涯学習部長、三上合宿の里統括監、須藤学校教育課長、武山社会教育課長
・総務部 青木総務課長
・健康福祉部 松ヶ平保健福祉センター所長
- 4 報 道 2名
- 5 次 第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 報告確認事項
 - ・報告第1号 令和2年度士別市教育推進の重点について
 - ・報告第2号 新型コロナウイルス感染症への対応について
 - 4 その他
 - 5 閉会

1 開会

●鴻野生涯学習部長

はじめに、牧野市長からご挨拶いただき、その後議長として進行願う。

2 あいさつ

●牧野市長

あいさつ要旨

- ・新庁舎が完成し、5月7日に開庁式を行った。本来であれば委員の皆さんにも出席い

ただくところだが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、規模を縮小して実施した。市役所は最大のサービス産業。職員が力を合わせ努力していく。3階にはふるさと大使である松井エイコさんの壁画を設置し、妹である朝子さんにはパントマイムを披露していただく予定だった。壁画設置の準備はすべて完了しているが、残念ながら東京から来ることができず、完成には至っていない。

- ・本日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催後に安倍首相が会見を行う。感染者が少ない県では非常事態宣言が解除される見通しである。北海道は広く上川だけでも一つの県に相当する面積があるため、感染者が出ていない地区では柔軟に対応する必要があると考えている。学校では休業が続いており、子どもたちも教員も大変な状況にあるが、5月18日から分散登校を開始し、26日からは給食も提供する予定。世界が激変するような出来事だが、地方が見直されることになるとも感じている。早く元の生活に戻れるようみんなで頑張っていきましょう。

3 報告確認事項

報告第1号

●牧野市長

「令和2年度士別市教育推進の重点」について、説明を願う。

●鴻野部長

士別市教育推進の重点は、士別市教育大綱を基に、教育行政執行方針に沿って作成している。昨年の重点から大きく変更していないが、重点的施策・事業として具体的な施策名を記載した。(資料により具体的な内容について説明)

●中峰教育長

教育推進の重点は、4月に開催した第1回教育委員会会議に諮り決定した。事務局が作成した素案を基に、各委員からの意見を反映し、かなりコンパクトに整理した。

●牧野市長

非常にコンパクトにまとまっているという印象。合宿の受け入れは、ドイツ・韓国・アルゼンチンのナショナルチームを受け入れる準備を進めていたが、オリンピック・パラリンピックが1年延期となった。準備する時間ができたと前向きに考えたい。

コロナウイルスの影響はあるが、重点にもとづき取り組みを進めてもらいたい。

報告第2号

●牧野市長

次に、「新型コロナウイルス感染症への対応」について説明を願う。

●中峰教育長

市長のあいさつにもあったとおり、各学校では分散登校の準備をしているところである。分散登校は児童・生徒の学習・生活・体力の状況などについて直接確認し、指導するために必要である。これまでどおりの学校生活は難しいが、できるだけ補っていけるよう努力したい。社会教育・体育施設については、地域を限って考えるのではなく圏域として考える必要がある。

●松ヶ平所長

士別で感染者は出ていないが、出てしまった時に、いかに拡大させないかが重要。子どもは対策が徹底できない場合があり指導が難しい。これから暖かくなってくるが、今後もマスクを着用できるか。うがいや手洗いは引き続き行うとともに、ドアノブを触らないなどの工夫が必要である。

●牧野市長

6月から学校が再開した場合にも、うがい・手洗いは習慣としなければならない。

●五十嵐職務代理者

これからの学校は、今までどおりではなく「新しい生活様式」を踏まえたものになる。子どもも大人も緊張感を持たなくてはならないと感じる。

●馬場委員

受験を控えた子どもは特にストレスがたまっている。今後どうなっていくかわからず不安な状態にあり、何らかのケアが必要ではないか。

●山田委員

コロナウイルスに関して偏見や差別が起こらないか心配である。学習指導以外に先生の役割が更に重要になると感じている。

●加藤委員

ウイルスに感染しない努力も必要だが、収束した後のアフターコロナともいえるべき対策が重要になる。子どもたちが学習する権利を担保しなければならない。GIGA スクール構想を踏まえた ICT 機器の整備を行い、学びの場を残していく方策をすべきである。

●中峰教育長

今後は授業時数の確保が課題となるが、授業と同じように行事も必要である。名寄市では運動会などの中止を決定したようだ。本市では学校行事の進め方について校長会と協議を行い、ひとまず延期として開催の機会をうかがうこととした。

●牧野市長

運動会は地域にとっても大きなイベントという面もある。秋に実施するなど検討してほしい。

●中峰教育長

冬に開催するスポーツ行事との連動も考える。やむを得ない場合は中止にする。

●牧野市長

新型コロナウイルスの影響は長引くことが想定される。研究しながら付き合っていかなければならない。本日、市の経済対策の内容を庁議で決定し、市議会代表者会議に報告、その後に記者発表した。特別定額給付金申請書を発送し、明日から受付、5月20日以降順次口座に振り込む予定。緊急経済対策の内容としては、事業継続応援金の支給や地域活性化プレミアム付商品券の発行など7事業を実施する。このうち、休業要請の影響が大きい事業者への応援金など一部の事業は専決処分し実施する。本市には新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金として1億3千2百万円の内示があったが、以前、リーマンショックの際は4億円を超える額が配分された。GIGAスクール構想を実現するためには、備品や通信網の整備に1億円近く必要になる。子どもの将来のために必要な経費であり、交付金の追加配分があれば充ち、場合によっては財政調整基金を取り崩すことも想定したい。

●五十嵐職務代理者

GIGAスクールの整備は必要。オンラインによる授業など、ぜひ進めていただきたい。

●中峰教育長

機器の整備はもちろんだが、ソフト面では教員の研修が必要、指導できる人材を育成しなければならない。オンライン授業では画面越しになるが、直接対面してこそ感じられることもあるので、どちらかではなく両方が必要である。

4 その他

●牧野市長

民間活力の活用として、4月から舞藝舎がサンライズホールの指定管理者となった。地元の素晴らしい人材が集まり、施設管理の経費圧縮が見込まれる。今後も市民力を生かして地域を作っていきたい。委員の皆さんも引き続き地域での活動に協力をお願いしたい。以上で総合教育会議を終了する。

【 会 議 終 了 】